

2017年10月24日

スカパーJSAT 株式会社
株式会社衛星ネットワーク
株式会社エンルート

スカパーJSAT 株式会社及び株式会社衛星ネットワークによる 株式会社エンルートへの出資について

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田真治、以下スカパーJSAT）及びスカパーJSAT の子会社である株式会社衛星ネットワーク（本社：東京都港区、代表取締役社長 松本崇良、以下 SNET）は、SNET の子会社である株式会社エンルート（本社：埼玉県朝霞市、代表取締役社長 瀧川正靖、以下エンルート）の、SNET による株式取得及びスカパーJSAT による第三者割当増資引き受けにより、10月20日付で100%の議決権を取得いたしましたのでお知らせいたします。

エンルートは、日本国内における産業用マルチコプタータイプドローンのリーディングカンパニーであり、SNET は2016年7月のエンルートへの出資以降、様々な分野で事業を推進してきました。ドローン事業は、今後も急速な市場拡大が予測されることから、スカパーJSAT はグループとしてのシナジー効果を期待し、出資を決定いたしました。

エンルートの強みは、ドローンの企画設計開発から製造、販売、保守、そして操縦士養成スクールまで一貫したサービスを提供できることです。農薬散布用ドローンをいち早く開発し、農業分野のトップメーカーとなっております。また、測量分野では世界的な光学機器メーカーである株式会社トプコン様、SNET とともに、測量効率が画期的に向上するドローン「QC730-TS」を開発、2017年9月より発売し、大変ご好評をいただいております。さらに、橋梁や太陽電池パネルなどのインフラ点検分野や、災害対策などの分野でも、先駆けて研究開発を進めています。また今後は、ドローン販売に保守点検や情報分析等のソリューションを統合したサービスの提供も予定しております。

今回の出資によって、スカパーJSAT グループは、お客様のニーズに合わせた高品質ドローンの量産体制を構築するとともに、スカパーJSAT の宇宙・衛星事業の技術力を活用し、山間・島しょ部などの通信不感帯や見通し外飛行における技術的課題の衛星通信による解決、画像解析等のソリューションやサービス開発を加速し、成長し続けているドローン活用分野の拡大に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいります。

【株式会社エンルート概要】（2017年10月20日付）

名称	株式会社エンルート
所在地	埼玉県朝霞市北原 2-4-23
資本金	9億4,600万円(資本準備金を含む)
株主	株式会社衛星ネットワーク、スカパーJSAT株式会社
取締役	代表取締役社長 瀧川 正靖 代表取締役副社長 井上 智之 取締役 梶原 裕志 取締役(非常勤) 松本 崇良 取締役(非常勤) 長塚 俊英 取締役(非常勤) 小川 正人 監査役(非常勤) 河野 史出子 監査役(非常勤) 平櫛 隆之

以上

(参考資料)

<エンルートのドローンが変える農業・測量の未来>

【農業】

Phase1：ドローン操縦からの解放

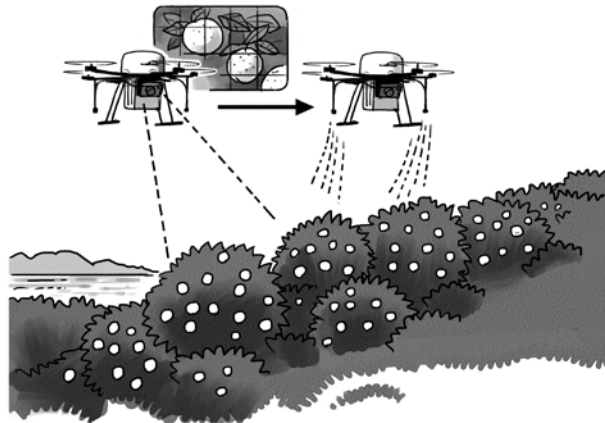
効率とコストのバランスを高いレベルで両立させているエンルートの農業専用ドローンが、更なる進化を遂げようとしています。

将来に向けてのテーマはずばり『操縦からの解放』。PCやタブレット上の地図にマーキングするだけで、安全かつ迅速な散布を行える時代がすぐそこまで来ています。



Phase2：人工の目と知能がスマート化を加速

収穫の日に向けてすくすくと育つ若い稲穂。日毎に糖度を上げながら色づいていく果実。それらの色味や大きさ、表情といった小さな変化をエンルート製ドローンのカメラの目がキャッチし、AIが今必要な薬剤、肥料を即座に判断して最も効率的な散布を自動で行うことを目指しています。



【測量】

標定点不要の測量システム『TSトラッキング UAS』専用ドローン『QC730-TS』 (2017/9/8付プレスリリースご参照)

標定点不要の画期的な測量システム『TSトラッキング UAS』（株式会社トプコン製）対応のエンルート製『QC730-TS』は、搭載するカメラに専用のプリズムを取り付けることで、自動追尾での連続測定を可能としました。このシステムとドローンの組み合わせにより、飛躍的に作業効率の向上を図ることができます。

